

令和5年度

事業報告および決算報告書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

一般社団法人 練馬区産業振興公社

一般社団法人練馬区産業振興公社の令和5年度事業報告および収支決算は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第123条第2項および「一般社団法人練馬区産業振興公社定款」第39条の規定に基づき、作成します。

## 目 次

I 法人概要および組織	1
1 設立目的	
2 実施事業	
3 沿革	
4 基金	
5 組織体制	
II 令和5年度の事業の実施状況	
1 練馬区内の中小企業の経営支援および産業振興に関する事業	3
(練馬ビジネスサポートセンターの運営)	
(1) 各種相談	
(2) セミナーの開催	
(3) 各種補助金の交付	
(4) 情報提供事業	
(5) 利用者アンケートの実施	
2 練馬区立区民・産業プラザの維持運営	8
(1) 利用状況	
(2) ケータリング等提携サービスの実施	
(3) 自動販売機の設置	
(4) 廃棄物の有料処理	
(5) 利用者アンケートの実施	

3	中小企業に働く勤労者および事業主のための福祉共済事業	13
	(ねりまファミリーパック)	
	(1) 生活充実事業	
	(2) 健康増進事業	
	(3) 自己啓発事業	
	(4) 余暇活動事業	
	(5) その他	
4	地域経済活性化のための観光振興事業	17
	(ねりま観光センターの運営)	
	(1) 観光商品の開発・支援に関する事業	
	(2) 観光情報の受発信に関する事業	
	(3) 観光事業への協賛・後援に関する事業	
	(4) 観光イベント事業	
	(5) 観光案内所運営事業	
5	社員総会および理事会の開催、監査の実施ならびに 共済事業運営委員会の開催	25
	(1) 社員総会の開催状況	
	(2) 理事会の開催状況	
	(3) 監査の実施状況	
	(4) 共済事業運営委員会の開催状況	
Ⅲ	令和5年度決算報告書	
	貸借対照表	30
	正味財産増減計算書	31
	財務諸表に対する注記	33
	附属明細書	35
	財産目録	36
	一般会計収支計算書	37

# I 法人概要および組織

## 1 設立目的

練馬区の商業、工業、農業および観光の分野における産業振興に関する事業ならびに勤労者の福祉共済に関する事業を総合的に実施することにより、中小企業の経営の安定と発展に貢献し、もって区内産業の振興および地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

## 2 実施事業

設立目的を達成するため、以下の事業を行う。

- (1) 練馬区内の中小企業の経営支援および産業振興に関する事業
- (2) 地域経済活性化のための観光振興に関する事業
- (3) 地域経済活性化のための旅行業法に基づく旅行事業
- (4) 中小企業に働く勤労者および事業主のための福祉共済事業
- (5) その他目的を達成するために必要な事業

## 3 沿革

昭和 54 年 2 月 24 日 「練馬区勤労者福祉共済会」として発足する。

平成 13 年 4 月 1 日 「練馬区勤労者福祉共済会」と「練馬区福祉公社」が統合し、「練馬区区民・勤労者福祉サービスセンター」とする。

平成 16 年 4 月 1 日 法人格を取得し、「有限責任中間法人ねりまファミリーパック」とする。

平成 21 年 4 月 1 日 法律の改正により、「一般社団法人ねりまファミリーパック」に名称変更

平成 25 年 4 月 1 日 法人改組により、「一般社団法人練馬区産業振興公社」とする。

平成 26 年 4 月 14 日 練馬区立区民・産業プラザの指定管理業務開始  
練馬ビジネスサポートセンター開設

平成 29 年 4 月 1 日 ねりま観光センター開設

令和 3 年 4 月 1 日 ねりま・石神井観光案内所の指定管理業務開始

令和 5 年 4 月 6 日 ねりま観光センターの地域限定旅行業務開始

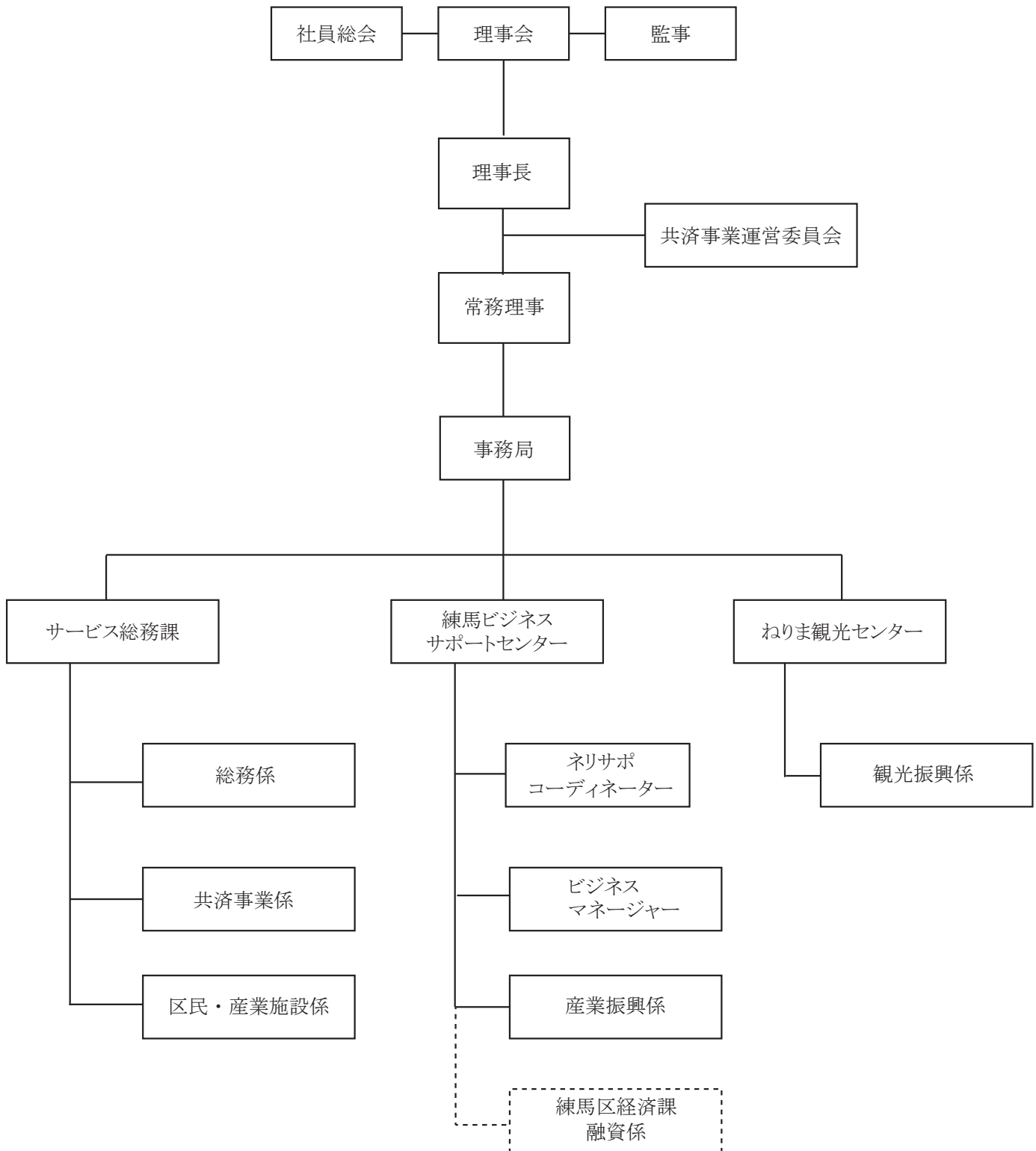
## 4 基金

9,050 万円（全額を練馬区が出資）

5 組織体制

一般社団法人練馬区産業振興公社 組織体制

(令和6年1月1日現在)



社員 5団体

役員 12名(理事長1名、副理事長1名、常務理事1名、理事7名、監事2名)

職員数 27名(常勤21名、非常勤等3名、ビジネスマネージャー3名)

## II 令和5年度の事業の実施状況

### 1 練馬区内の中小企業の経営支援および産業振興に関する事業（定款第4条第1号） （練馬ビジネスサポートセンターの運営）

練馬ビジネスサポートセンターは、区内の産業振興と経済の活性化を図るため、中小企業の経営支援と起業・創業の支援に関する事業に取り組んでいます。

令和5年度は、新型コロナウイルスが感染法上5類に移行され、様々な制限が緩和されたことから、地域経済が活性化する好機と捉え、中小企業診断士によるチームを編成するなど相談体制の強化を図りました。また、インボイス制度の開始に伴い、税務の専門相談枠の拡充を図りました。これらの取り組みにより、相談事業の件数増など一定の成果を上げることができました。

#### （1）各種相談

総合相談および起業・創業相談は、センター長、ビジネスマネージャーに加えて、新たに中小企業診断士によるチームを編成し、相談体制を強化しました。その結果、相談する場所が少ないことが課題となりました。相談室のレイアウトを変更することにより、ニーズに対応していきます。

10月からインボイス制度が開始されたことに伴い、税務の専門相談枠を拡充しました。当該制度や令和6年1月に施行された電子帳簿保存法に関する相談需要に対応するため、拡充した相談枠を継続していきます。

来所することが難しい利用者に対応するため、オンラインや電話での相談受付を継続して実施していきます。

相談件数は、対前年度比493件、27.8%の増となりました。

事業名		計画数	実施数	相談件数等	備考
総合相談		随時	随時	646件	月曜～金曜
起業・創業相談		随時	随時	423件	月曜～金曜
専門相談	法律	46回	46回	82件	月曜午前2枠
	デジタルサポート	46回	45回	36件	月曜午後4枠
	労務	51回	51回	74件	火曜午後4枠
	販路拡大・集客	49回	49回	167件	水曜7枠
	経営全般	50回	49回	51件	木曜午後4枠
	税務	47回	85回	292件	金曜午後4枠 ※7月から火曜午前4枠
ワンストップ相談		10回	10回	389件	ビジネスマネージャー・コーディネーター等が対応

出張相談	総合、起業・創業、デジタルサポート、労務、販路拡大・集客、経営全般、税務	42回	5回	5件	総合2件、経営全般1件、税務1件、労務1件
	企業診断、フォロー診断	70回	45回	45件	融資企業診断24件、融資フォロー診断21件
合同経営相談会	総合、起業・創業、デジタルサポート、労務、経営全般、税務	2回	2回	50件	5/13、10/1 起業・創業・総合13件、デジタル8件、労務4件、経営全般12件、税務9件、融資4件
経営支援会議		12回	5回	5回	相談員相互による調整
合計		425回 (426回)	392回 (388回)	5回 (3回) 2,265件 (1,772件)	

※( )内は令和4年度実績

※合同経営相談会は、公益社団法人練馬西法人会との共催事業として実施しました。また、10月は日本政策金融公庫池袋支店との共催により、融資相談を実施しました

## (2) セミナーの開催

起業セミナー(創業！ねりま塾)、経営者セミナーともに会場で開催しました。あわせて、コロナ禍で培ったオンライン方式や動画配信の利便性や利点を生かす取り組みも引き続き実施しました。

創業！ねりま塾の「入門編」では、会場開催の同日にオンラインライブ開催を実施しました。「一般編」、「女性編」、「若者編」、「応用編」は、会場開催とオンラインライブ開催を分けて実施しました。「女性編」の会場開催は定員を超える申し込みがありました。調整し、申込者全員を受け入れました。「若者編」は、約半数のキャンセルが課題となり、有料化を含め、申し込みの適正化を目指します。受講者満足度は、89.9%と非常に高い評価を得ることができました。

経営者セミナーは、会場開催と同日にオンラインライブ開催も実施しました。「顔出しゼロでも大丈夫。音声 SNS 実践術」といったコロナ禍からポストコロナを見据えた経営方法の紹介など利用者のニーズを見込んだセミナーを会場開催した結果、受講者満足度は86.9%となり、経営計画の数値目標80%以上を達成することができました。

セミナーの実施は、今後も参加希望者の希望により「対面方式」「オンラインライブ方式」を選択できるよう取り組みます。

事業名		計画数	実施数	受講人数 視聴回数	備考
起業セミナー 創業！ねりま塾	入門編	1回	1回 動画配信	会場56人 オンライン30人 117回	4/29

	一般編	1回	1回 動画配信	会場 33人 オンライン 17人 729回	5/17(オンライン) 5/20(会場)
	女性編	1回	1回	会場 40人 オンライン 23人	6/10(会場) 6/14(オンライン)
	若者編	1回	1回	会場 11人 オンライン 8人	8/16(会場) 8/19(オンライン)
	応用編	1回	1回	会場 23人 オンライン 11人	9/13(オンライン) 9/16(会場)
	実践編	1回	1回 (6日制)	35人	10/21、28、 11/4、11、18、12/2
経営者セミナー	理念・ビジョン	8回	1回	会場 19人 オンライン 20人	5/25
	事業継承		1回	会場 14人 オンライン 23人	6/15
	デジタル(Web活用)		1回	会場 20人 オンライン 24人	7/20
	商標権		1回	会場 27人 オンライン 28人	9/21
	販売促進		1回	会場 23人 オンライン 29人	10/26
	デジタル(Web活用)		1回	会場 21人 オンライン 25人	11/22
	デジタル(DX化)		1回	会場 27人 オンライン 30人	1/25
	国・都・区の補助金		1回	会場 24人 オンライン 24人	2/21
合計	14回 (14回)	14回 (15回) 動画配信	665人 (711人) 846回 (401回)		

※( )内は令和4年度実績

※起業セミナー(創業!ねりま塾)は、東京商工会議所練馬支部、株式会社みずほ銀行、西京信用金庫、芝信用金庫、城北信用金庫、巣鴨信用金庫、西武信用金庫および東京信用金庫との共催事業として実施しました。

### (3) 各種補助金の交付

ホームページ作成補助事業など、7種類の事業を実施しました。昨年度に続き、原材料費の高騰や人件費高の影響により、全体として交付件数は減少しましたが、ホームページ作成費補助事業や見本市等出展費用補助事業といった販売促進型の事業には一定数の利用がありました。東京都中小企業振興公社の専門家派遣事業の利用はありませんでしたが、これは練馬ビジネスサポートセンターの相談体制の充実により、当該センターで相談が完結できていると分析しています。引き続き、利用者の皆様に満足いただけるよう、経営および起業・創業の支援を行っていきます。



事業名	計画数	交付数	備考
ホームページ作成費補助事業	40件	23件	補助率:1/2 限度額:5万円
各種認証等取得費補助事業	2件	0件	補助率:1/3 限度額:50万円
見本市等出展費用補助事業	15件 1団体	9件 0団体	補助率:1/2 限度額:10万円 (団体は限度額:20万円)
区内事業者等の連携による製品等開発費補助事業	2件	1件	補助率:1/2 限度額:20万円
商店街空き店舗入居促進補助事業	20件	14件 ※採択件数	【店舗改修費】 補助率: 区内改修事業者への発注:2/3 区外改修事業者への発注:1/2 限度額:100万円 【店舗賃借料】 補助率:2/3 限度額:補助開始月の経過月数に応じて、2~5万円 【経営サポート】 出張相談員(中小企業診断士)が事業開始後、3、6、9、15、25月日に実施
産業財産権取得費補助事業	8件	2件	補助率:1/2 限度額:10万円
専門家派遣事業 (都の専門家派遣費一部補助)	39件	0件	補助額:1万円(派遣1回当たり) 限度額:3万円(年度内3回まで)
合計	127件 (127件)	49件 (62件)	

※( )内は令和4年度実績

#### (4) 情報提供事業

##### ① 産業情報紙の編集・発行

練馬区内の中小企業経営の改善や発展の一助となるよう、経営者や従業員の方向けの産業情報紙「neri・made(ネリマデ)」を年4回、各回8,300部発行し、区立施設や区内・近隣の金融機関等で配布しました。ホームページとも連動し、経営に関わる有益な情報を効果的に発信しました。

春号ではビジネスプランの必要性、夏はデジタル化のメリット、秋はインボイス制度、冬はインフレに負けない経営をそれぞれ特集しました。区内事業者の生の声や成功事例を掲載することで、起業を考えている方に興味を持っていただける紙面になるよう努めました。

##### ② 中小企業の景況

四半期ごとに一般社団法人東京都信用金庫協会が実施する「都内中小企業景況調査」の練馬区分データを購入手して「練馬区 中小企業の景況」を編集し、ホームページ上に掲載してダウンロードができるようにしました。この「練馬区 中小企業の景況」は、練馬区内の業種別にもまとめており、業種別の景気動向を知るうえで貴重な情報源となっています。

③ 事業者支援サイト

区内事業者が主体的に自社の PR 活動ができる場を提供するとともに、短い時間でいつでもどこでも気軽に視聴できる動画を配信するポータルサイトとして、「ねりさぼビジネスラボ」を運営しています。

PR 動画の配信サイトでは、4 本の動画を配信し、区内事業者のイベントや PR 情報投稿サイトでは、21 件の情報を発信しました。

15 分動画セミナーは、12 本の動画を配信し、視聴回数は 1,477 回となりました。中でも、「値上げしても利益を確保できるか」をテーマとした動画の関心は高く、ニーズに沿った情報発信ができました。

今後も、区内事業者自身が主体的に情報発信し学べるサイトとして進化していきます。

事業名		計画数	実施数	視聴回数	備考
ねりさぼビジ Tube		随時	4回	256回	
ビジネス！PR ボード		随時	21回	—	
15 分動画セミナー	ネットバンキング	12 本	1回	111回	6/30
	予約システムの自動化		1回	67回	6/30
	インボイス		1回	169回	7/13
	グーグルアナリティクス		1回	163回	9/27
	デジタルサポート		1回	84回	9/29
	営業トーク		1回	134回	10/13
	クレーム処理		1回	63回	10/13
	値上げで利益確保		1回	252回	11/22
	ビジネスプロフィール①		1回	94回	12/5
	ビジネスプロフィール②		1回	62回	12/5
	電子帳簿保存法		1回	211回	12/7
	事業継承の基礎		1回	67回	2/27
小 計			12回	1,477回	
合 計		12 本 (12 本)	37 回 (35 回)	1,733 回 (1,918 回)	

※( )内は令和 4 年度実績

## (5) 利用者アンケートの実施（概要、詳細はホームページで公表中）

練馬ビジネスサポートセンターの機能充実と認知度向上への取り組みを強化するため、毎年度同じ時期にアンケート調査を実施しています。

### 実施時期

令和6年1月26日(金)から2月26日(月)まで(32日間)

### 実施方法

令和5年4月から12月までの期間に練馬ビジネスサポートセンターの相談事業(総合・専相)を利用した方に任意でウェブアンケートを実施しました。

### 回答数

106件(令和4年度81件)

### 実施結果

#### 専門相談の評価

相談内容に対する評価を質問したところ、「とても役に立った」、「役に立った」とする回答が83.0%(前年度82.7%)でした。

#### 全体の接遇

ネリサポ職員の接遇について評価を求めたところ、「とても良かった」、「良かった」の評価が89.6%(前年度87.6%)でした。

## 2 練馬区立区民・産業プラザの維持運営（定款第4条第1号）

平成26年度から、区内産業の振興、区民の文化活動と相互交流の促進、地域における公益的な活動の支援等を行うことを目的とする練馬区立区民・産業プラザ(以下「プラザ」という。)の指定管理者(3期3年目)として、施設の維持運営を行いました。

プラザは、令和5年度で施設開設10年目を迎え、設備や備品等の劣化や汚損が進行しています。高い利用率を維持するために、設備・備品等の保守・点検、清掃等を徹底し、良好な施設環境を維持するとともに、施設のPRやお客様への接遇向上を心がけてきました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことや、上記の取り組みを継続して行ってきた結果、利用が増加しました。特にイベントコーナーの利用率は、前年度比19%増の61.3%となりました。利用満足度のアンケートでは、「大変良い・良い」の割合が90%を超える高い評価を得ることができました。

10月には、練馬区の友好都市である上田市のイベントがイベントコーナー等で開催され、多くの方が来館しました。今後もこのようなイベントに協力し、プラザのPRにつなげていきます。

### (1) 利用状況

#### ① 利用者登録数 2,980件

令和6年3月末の利用者登録数は、前年度末と比べ193件増えました。

#### ② 利用時間数、利用率

利用率は、前年度と比べ2.3ポイント増の67.2%となりました。

施設名		利用可能延時間(h)	利用時間数 (h)					利用延時間(h)	利用率 (%)
			通常	減額	免除	公用等	計		
研修室 1	全面	9,360	1,111	552	289	839	2,791	6,549	70.0
	研修室 1 1/2(東側)		210	46	244	23	523		
	研修室 1 1/2(西側)		177	67	152	48	444		
研修室 2	全面	9,360	987	221	233	554	1,995	5,665	60.5
	研修室 2 1/2(東側)		481	117	171	14	783		
	研修室 2 1/2(西側)		459	85	306	42	892		
研修室 3		4,680	1,763	491	462	482	3,198	3,198	68.3
研修室 4		4,680	1,698	485	507	313	3,003	3,003	64.2
研修室 5		4,680	1,694	596	487	249	3,026	3,026	64.7
産業イベントコーナー		4,680	1,846	416	468	140	2,870	2,870	61.3
ホール	全面	11,880	1,091	330	911	227	2,559	9,010	75.8
	ホール 2/3(東側+中央)		38	15	7	0	60		
	ホール 2/3(西側+中央)		165	33	40	37	275		
	ホール 1/3(東側)		200	20	111	8	339		
	ホール 1/3(中央)		45	5	20	0	70		
	ホール 1/3(西側)		105	31	118	0	254		
多目的室	全面	9,360	656	127	870	131	1,784	6,136	65.6
	多目的室 1		811	118	355	5	1,289		
	多目的室 2		953	101	217	8	1,279		
合 計		58,680 (58,517)	14,490 (11,875)	3,856 (4,327)	5,968 (5,800)	3,120 (3,899)	27,434 (25,901)	39,457 (38,061)	67.2 (65.0)

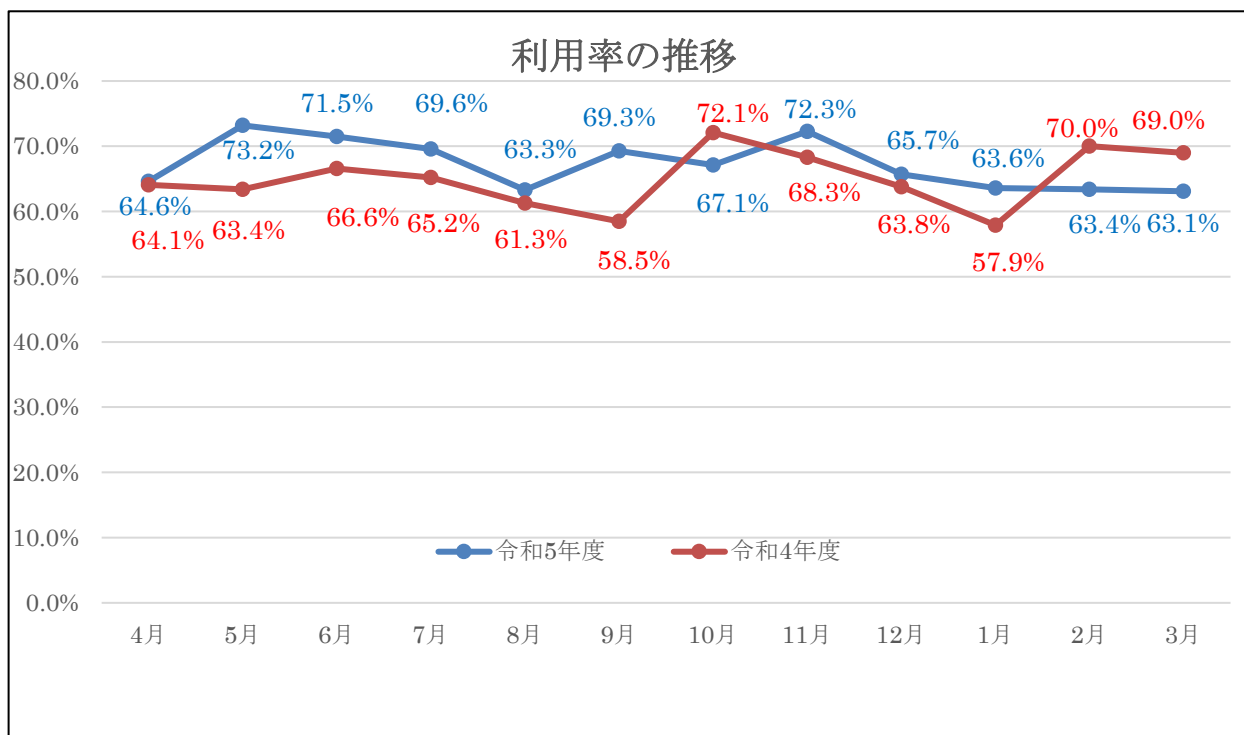
※( )内は令和4年度実績

※1 研修室 1・2 および多目的室の利用可能延時間および利用延時間は、全て半面を利用したものと  
として換算した時間数

※2 ホールの利用可能延時間および利用延時間は、全て 1/3 面を利用したものととして換算した  
時間数

※3 産業イベントコーナーの利用時間は、1 日 13 時間を利用したものととして換算した時間数

③ 施設全体の月別利用率の推移



④ 利用料金収入

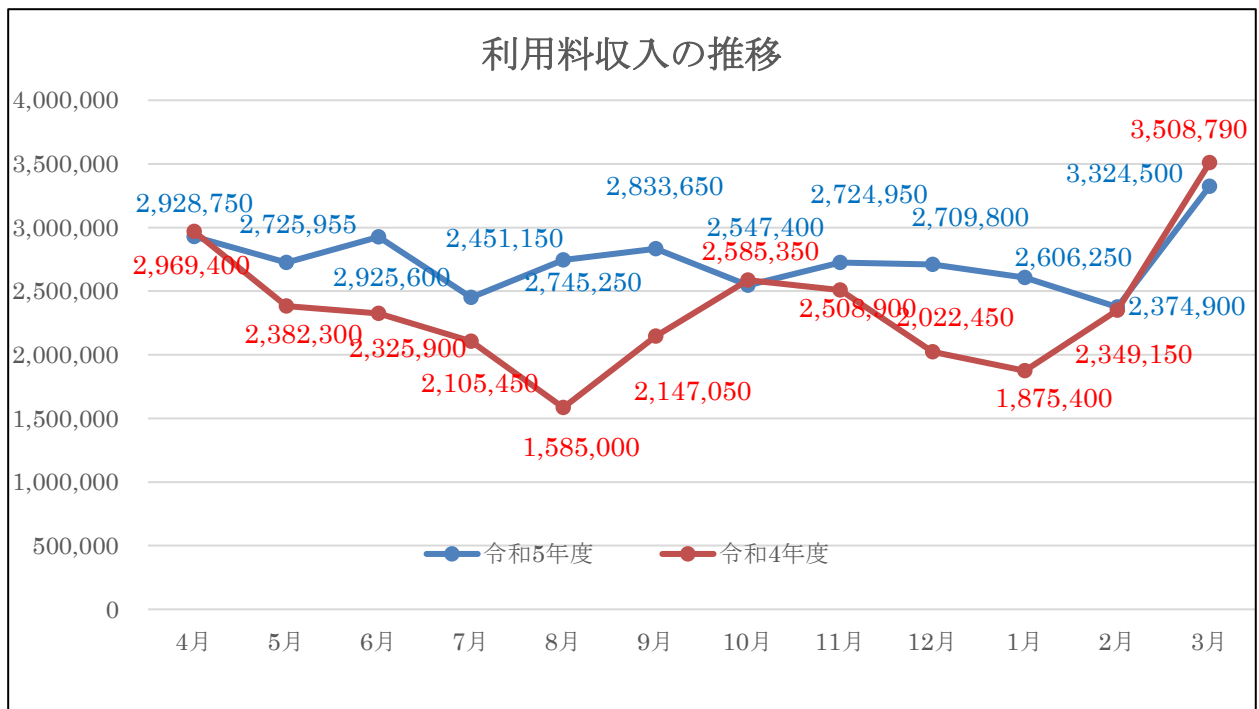
令和5年度の利用料金収入は、約 3,290 万円で前年度と比べ約 430 万円の増加です。

施設名		利用料金 (単位:円)		
		施設使用料	備品使用料	合計
研修室1	全面	2,207,650	585,500	2,793,150
	研修室 1 1/2(東側)	195,300	5,300	200,600
	研修室 1 1/2(西側)	188,000	7,500	195,500
研修室2	全面	1,018,400	37,800	1,056,200
	研修室 2 1/2(東側)	171,350	4,050	175,400
	研修室 2 1/2(西側)	318,600	15,350	333,950
研修室3		1,007,850	34,150	1,042,000
研修室4		985,700	28,500	1,014,200
研修室5		1,022,050	28,850	1,050,900
産業イベントコーナー		4,661,700	668,400	5,330,100
	全面	13,928,800	997,850	14,926,650
	ホール 2/3(東側+中央)	306,500	21,700	328,200

ホール	ホール 2/3(西側+中央)	1,486,505	160,400	1,646,905
	ホール 1/3(東側)	1,192,950	53,800	1,246,750
	ホール 1/3(中央)	232,800	20,900	253,700
	ホール 1/3(西側)	550,750	73,000	623,750
多目的室	全面	286,400	8,000	294,400
	多目的室 1	172,400	8,000	180,400
	多目的室 2	200,300	5,100	205,400
合 計		30,134,005 (26,121,390)	2,764,150 (2,243,750)	32,898,155 (28,365,140)

※( )内は令和4年度実績

⑤ 施設全体の月別利用料金収入の推移



(2) ケータリング等提携サービスの実施

飲食を伴う利用団体の利便に供するため、ケータリングおよび仕出しサービスを提供する事業者を有償で登録し、登録事業者のパンフレットを作成・配布しました。

登録事業者を利用したときは、鍵の受領・返却は登録事業者が代行できるようにするなど、利用者サービスの向上と施設の利用促進を図っています。

登録事業者数 8社(うち区内事業者6社)

### (3) 自動販売機の設置

プラザの3階および4階のエレベーターホールに、各階2台・計4台、清涼飲料水の自動販売機を設置し、利用者の利便性を図りました。

自動販売機設置事業者からは売上額に応じて、販売手数料を徴収し、その額は、約 123 万円で、前年度と比較し約9万円の増額です。

自動販売機設置事業者

3階エレベーターホール

東京麒麟ビバレッジサービス株式会社

株式会社伊藤園 練馬支店

4階エレベーターホール

東京麒麟ビバレッジサービス株式会社

株式会社 ユカ

### (4) 廃棄物の有料処理

プラザ利用者の利便を図るため、利用者が排出した廃棄物を、公社が有料で処分しました。廃棄物の処理は、廃棄物処理業者に委託しています。

処分件数 可燃ごみ 209 件(45リットルごみ袋 1枚 400円)

不燃ごみ 135 件(45リットルごみ袋 1枚 550円)

### (5) 利用者アンケートの実施

プラザの利用者を対象に、施設を利用した満足度等を把握するため、前年度に引き続きアンケート調査を実施しました。調査結果は、利用者サービスの向上に活かしていきます。

実施期間

令和6年1月26日(金)から2月26日(月)まで(32日間)

回答数

213件(令和4年度212件)

アンケート結果

- ・ プラザを利用した理由として挙げられたのは、「交通の便がよい」が約3割、「施設がきれい」「施設の定員・広さが適当」の順でそれぞれ約2割です。交通の便の良さが、プラザの一番の特徴となっています。
- ・ 施設や備品等の清潔さについての質問に対して、大変良い・良いを選択した割合が92.3%、職員の対応では、大変良い・良いの割合が91.7%、プラザを利用している満足度では、大変満足・満足の割合が91.9%と、昨年度と同様に高い評価を得ました。

アンケートの集計結果は、区民・産業プラザのホームページに掲載しています。

### 3 中小企業に働く勤労者および事業主のための福祉共済事業（定款第4条第4号） （ねりまファミリーパック）

ねりまファミリーパックは、会員制を採用し、会員相互の支え合いと会員規模の優位性を積極的に活かした事業を展開しています。

令和5年度は、チケット等の仕入額の値上りや補助額の充実のために充てていた収益事業がなくなったことで会員への還元額が減り、従来からのお得感が薄れたことで退会者数は入会者数を上回り、会員数は減少しました。

会員事業所および区内経済団体等との共同事業は、練馬ビジネスサポートセンター、ねりま観光センター、練馬区国際都市交流課と10月に「おいしい秋の大感謝祭」を実施しました。昨年度参加のJA信州うえだほか初参加となったネリサポのセミナー参加飲食店やねりコレ店、信州上田観光協会あわせて11店舗が産業イベントコーナーで会員向けプレゼントや飲食物・農産物の即売会を行ない、800人以上の来場者がありました。

会員拡大を最重要課題と位置づけ、全力で取り組むとともに、事業内容も区内のさまざまな事業者との共同事業を積極的に推進し、地域に根差した特色あるサービスを展開していきます。

#### 事業所・世帯数と会員数

会員総数は、前年度末と比べ、事業所会員は111人、個人会員は197人減少し、総計では308人減少し、9,185人となりました。

		令和6年3月末	令和5年3月末	令和4年3月末
会員数  ( )内は構成比 単位:人	総数	9,185 (100%)	9,493 (100%)	9,760 (100%)
	事業所	5,611 (61.1%)	5,722 (60.3%)	5,764 (59.1%)
	個人	3,574 (38.9%)	3,771 (39.7%)	3,996 (40.9%)
事業所/世帯数  単位:事業所(所) 個人(世帯)	総数	4,837	5,087	5,360
	事業所	1,474	1,540	1,607
	個人	3,363	3,547	3,753

#### 各事業の実施状況

事業名	計画数 A	実績数 B	達成率 B/A
(1)生活充実事業	43,880人	40,757人	92.9%
(2)健康増進事業	19,150人	18,017人	94.1%
(3)自己啓発事業	16,470人	14,151人	85.9%



(4)余暇活動事業	20,600人	18,596人	90.3%
合 計	100,100人 (102,480人)	91,521人 (88,933人)	91.4% (86.8%)

※( )内は令和4年度実績

※実績数は前年度と比べ2,588人増加し、達成率は4.6ポイント増加しました。

## (1) 生活充実事業

### ① 給付事業(計画数1,480件 実績数1,305件)

会員への祝意や弔意等を示すため、祝金・見舞金・弔慰金を支給しました。

### ② 生活充実事業

#### ア 老後生活安定事業

中小企業勤労者等が明るく健やかな老後生活を送るための情報提供として、中小企業退職金共済制度を会報8・9月号に掲載し、パンフレットを窓口に配架しました。

#### イ 財産形成事業

中央労働金庫の教育ローン等各種ローンの案内を会報10・11月号に掲載しました。

#### ウ 講演会の開催

事業名	計画数	実績数
特別講演会 舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」の舞台裏	100人	79人

#### エ 各種チケットあっせん等

事業名	計画数	実績数
区内共通商品券あっせん	4,300人	3,884人
ジェフグルメカードあっせん	3,500人	3,415人
クオカードあっせん	2,400人	1,349人
生活関連カードあっせん	3,150人	1,535人
食事券あっせん	3,000人	3,144人
レストラン利用補助	3,600人	3,195人
創立記念事業補助	150人	306人 (16社)
地域振興生活活性クーポン	22,200人	22,545人
計 達成率	42,300人 (43,400人)	39,373人 (40,276人)
	93.1% (92.8%)	

※( )内は令和4年度実績

## (2) 健康増進事業

### ① 健康関連施設のチケットあっせん

事業名	計画数	実績数
スポーツクラブチケットあっせん	1,120人	1,120人

日帰り温泉チケットあっせん	11,310人	10,497人
都内共通入浴券あっせん	600人	600人
練馬区立スポーツ施設個人利用カードあっせん	960人	1,091人
計 達成率 95.1% (80.9%)	13,990人 (14,540人)	13,308人 (11,762人)

※( )内は令和4年度実績

② 健康保持サービスの利用補助

事業名	計画数	実績数
人間ドック・脳ドック利用補助	160人	129人
定期健康診断経費補助	2,300人	2,293人
予防接種費用補助	2,700人	2,287人
計 達成率 91.3% (87.2%)	5,160人 (4,960人)	4,709人 (4,327人)

※( )内は令和4年度実績

(3) 自己啓発事業

① 文化・教養活動のあっせん・補助

事業名	計画数	実績数
観劇・コンサート等チケットあっせん	1,000人	993人
観劇・コンサート等チケット利用補助	120人	8人
展覧会等チケットあっせん	1,800人	2,349人
図書カードあっせん	1,400人	1,184人
映画鑑賞券あっせん	11,140人	8,768人
映画館のメンバーズカード手数料補助	840人	708人
計 達成率 86.0% (61.2%)	16,300人 (19,680人)	14,010人 (12,037人)

※( )内は令和4年度実績

② 生涯学習のための講座の実施等

事業名	計画数	実績数
講座利用補助	40人	11人
講座割引	40人	50人
趣味と教養の講座	90人	80人
計 達成率 82.9% (98.8%)	170人 (80人)	141人 (79人)

※( )内は令和4年度実績

※趣味と教養の講座では、「新宿高野紅茶教室」など3回実施しました。

#### (4) 余暇活動事業

##### ① 旅行事業

事業名	計画数	実績数
トラベル利用補助(はとバス・パッケージツアー等)	1,280人	737人
計 達成率 57.6% (45.1%)	1,280人 (1,800人)	737人 (812人)

※( )内は令和4年度実績

##### ② 遊園地等利用補助

事業名	計画数	実績数
西武園ゆうえんちファミリーパスあっせん	1,000人	330人
東京ドームシティ得10チケットあっせん	800人	640人
東武動物公園ハッピーフリーパスあっせん	1,700人	1,490人
スポーツ観戦チケットあっせん	900人	869人
大相撲観戦チケットあっせん	270人	180人
スキーリフト券あっせん	150人	119人
サンシャインチケットあっせん	1,700人	2,256人
特別企画チケットあっせん	9,600人	8,641人
夏季プール券あっせん	400人	197人
東京ディズニーリゾート利用補助	2,800人	3,137人
計 達成率 92.4% (112.7%)	19,320人 (16,240人)	17,859人 (18,297人)

※( )内は令和4年度実績

#### (5) その他

##### ① 会員証提示による割引・割引券等の配布

会員証の提示により契約する区内飲食店などで割引等の特典が受けられます。施設割引券等は、いつでも取得できるように、Web 会員専用ページからダウンロードができ、自由に持ち帰れるように窓口に配架しました。

全国にある各サービスセンターの活動をサポートしている組織、「(一社)全国中小企業勤労者福祉サービスセンター」(通称:全福センター)に加盟し、全国で約 50,000 か所の利用可能施設・サービスを会員に提供しています。利用方法等は、令和4・5年度版ガイドブックに掲載しました。

##### ② 会員との情報の受発信

会報を年6回(4・5月号、6・7月号、8・9月号、10・11月号、12・1月号、2・3月号)各10,000部発行しました。

Web 会員を対象に、会報2・3月号でアンケートを実施し、642名から回答があり、サービス内容について93.9%の方が満足との評価を得ました。

ホームページを最大限に活用して最新の情報を発信し、サービスの向上に努めています。

### ③ 会員の加入促進

15年、20年、25年の永年在会の会員572人に、感謝の意と退会防止策として、「在会謝礼クーポン3,000円」を配付しました。

5～6月と11～12月に実施した入会促進キャンペーンでは、会員紹介制度のPR、ポスティングの実施により229人が入会しました。前年度のキャンペーンと比べ21人の減少です。

## 4 地域経済活性化のための観光振興事業（定款第4条第2号） （ねりま観光センターの運営）

ねりま観光センターは、観光による地域経済の活性化を図るため、民間ならではの柔軟な発想・ノウハウを活用してさまざまな観光振興事業を展開しています。

令和5年度は、練馬区の豊かなみどりや優れた文化芸術に触れられる大きなプロジェクトが目白押しであり、そのような「ねりま推し」をさらに盛り上げるため、様々な手法で観光情報の発信や観光ツアーを実施することで、練馬区の魅力を積極的にPRしました。

### （1）観光商品の開発・支援に関する事業

#### ① ねりコレ事業

<事業のポイント>

ねりコレ2024の募集

ねりコレ2022の審査ルール等の制度設計を引継ぎ、お土産とメニューの二部門を認定。

お土産部門の完全実食審査

食品・芸術・流通など各分野の専門家による審査、および区民代表者による審査を実施。

メニュー部門の人気投票制導入

WEB投票に加え、イベントに併せて特設ブースでの投票を実施し、数的担保も意識。

（ねりまファミリーパック主催：おいしい秋の大感謝祭、全国都市農業フェスティバル）

ねりコレの募集とPR

募集は、X（旧Twitter）やInstagramといったSNS広告を活用しました。

今後のPR方法は、お土産部門は従来同様冊子を作成し、メニュー部門はWEBに加えて店舗からの要望に応じて三つ折りマップを令和6年度から試験的に実施します。

<募集・審査スケジュール>

6月1日～7月31日 募集

10月11日～11月30日 メニュー部門WEB投票

10月21日 ねりまファミリーパック×長野県上田市 おいしい秋の大感謝祭

11月7日 外部専門家による実食審査

11月8日 区民代表者による実食審査

11月19日 全国都市農業フェスティバル

5月21日 ねりコレ 2024 認定商品発表

【ねりコレ認定数内訳】

部門	PR方法	カテゴリー	選定数
お土産部門	冊子	和菓子	10
		洋菓子	22
		食品	31
		飲料(お茶・酒類)	7
計			70
メニュー部門	ねりま観光センターホームページおよび三つ折りマップ	飲食店のメニュー	27
		計	27
合計			97

② グッズの制作・販売

練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」の独自制作。(企画・開発・デザインをセンターにて実施)  
 新商品として、ボールペン、アクリルスタンド、ピンバッチの3種類を発売。

好評のクリアファイル、マグネット、コルクコースター、ハンドタオル、アクリルキーホルダー、  
 コットンリネン巾着袋は増産し、メモ帳、ポチ袋は絵柄を変えて発売。

(2) 観光情報の受発信に関する事業

① ホームページ

観光情報ウェブサイト「とっておきの練馬」において、区内の観光スポットやイベント、グルメ情報  
 など、練馬区の魅力を発信しています。

【ホームページPV数】

	PV数
平成30年度(年間)	936,348 件
令和元年度(年間)	1,204,077 件
令和2年度(年間)	1,400,420 件
令和3年度(年間)	903,801 件
令和4年度(年間)	1,060,589 件
令和5年度(年間)	1,134,576 件

② SNS

ねりま観光センターX(旧 Twitter)および Facebook により、旬の観光情報をリアルタイムに発信し  
 ています。

Xのフォロワー数は、6,673人。(2017年開始時は3,816人)。

Instagramのフォロワー数は2,238人。(2020年開始時は1,210人)。

③ 観光ガイド・練馬カプセル発行(9月28日、3月19日発行)

「心の栄養補給」をコンセプトに、新しい視点での練馬の楽しみ方をカプセル型のカードにして、第9弾と第10弾(うち1種は全国都市農業フェスティバルスペシャル版)を5種類ずつ発行。

【発行部数】 11,000部(9種×1,000部、スペシャル版×2,000部)

【配布場所】 観光案内所、掲載スポットなど

④ お花見散歩まっふの発行(3月1日発行)

区内の桜の名所を中心とした6つのお花見散歩コースを紹介するマップを作成・配布。

【発行部数】 2万5千部

【配布場所】 観光案内所、区立施設、掲載スポット、商店街、スーパーなど

⑤ 練馬区観光ガイドマップの増刷

区内の観光スポットや公園、文化財、イベント情報に加え、バス路線図等の交通情報も掲載した観光ガイドマップ(2023年改訂)を増刷。

【増刷部数】 23,500部

(日本語 15,000部、英語 2,500部、中国語〈簡体字・繁体字〉、韓国語 各 2,000部)

【配布場所】 観光案内所、区立施設など

⑥ 豊島園通りの歩き方の発行(6月発行)

6月16日の「ワーナー ブラザース スタジオツアー東京 - メイキング・オブ・ハリー・ポッター」の開業にあわせて、地元商店会と連携し、「地球の歩き方」とのコラボガイドブックである「豊島園通りの歩き方」を発行。

<冊子のポイント>

豊島園駅から徒歩およそ10分圏内にある飲食店を中心に、立ち寄りスポットや練馬の名物土産を紹介。スタジオツアー東京へ訪れる世界各国からの観光客にも手に取ってもらえるよう、多言語(英・韓・繁体・簡体)にも対応。

【発行部数】 63,000部

(日本語 50,000部、英語 4,000部、中国語〈簡体字・繁体字〉、韓国語 各 3,000部)

【増刷部数】 53,000部

(日本語 40,000部、英語 4,000部、中国語〈簡体字・繁体字〉、韓国語 各 3,000部)

### (3) 観光事業への協賛・後援に関する事業

観光イベント主催者からの依頼を受け、協賛(協力)、後援を行うとともにPR面での事業協力を行いました。

開催日	事業名	主催者	会場	種別
5月14日(日)	第36回照姫まつり	照姫まつり推進協議会	石神井公園および周辺地域	後援
5月21日(日)	第12回井のいち	井のいち実行委員会	石神井氷川神社	後援
5月28日(日)	アニメプロジェクト in 大泉 2023	アニメプロジェクト in 大泉推進委員会	大泉小学校、妙延寺、大泉風致地区公園、大泉図書館、東映アニメーションミュージアム	後援
10月20日(金)～10月22日(日)	ロハスフェスタ東京2023	ロハスフェスタ実行委員会	光が丘公園芝生広場	後援
10月15日(日)	第46回練馬まつり	練馬まつり推進協議会	練馬駅北口およびマロニエ通り周辺	後援
11月3日(金・祝)	森のJAZZ祭 2023	森のJAZZ祭実行委員会	石神井公園野外ステージ	後援
11月19日(日)	全国都市農業フェスティバル	全国都市農業フェスティバル実行委員会 練馬区	都立光が丘公園、区立光が丘体育館 ほか	後援

#### (4) 観光イベント事業

アニメ、映像文化、農産物などさまざまな区の魅力を内外に発信し、区内誘客および地域経済活性化に寄与することを目的に、各種観光イベントを企画・実施しています。

##### ① NHK連続ドラマ小説「らんまん」および牧野富太郎博士関連事業(ねりま推し)

ア 博士の出身地、高知県と連携し、4月から高知県立牧野植物園で取扱うグッズをねりま観光案内所・石神井観光案内所で販売。

イ 両観光案内所で博士の関連パンフレットの配布や高知県主催のスタンプラリー・デジタルスタンプラリーの参加施設としても協力。牧野富太郎博士のPRに尽力しました。

ウ NHK連続ドラマ小説「らんまん」の放映を記念して、5月29日～6月4日まで Coconeri3階産業イベントコーナーで「らんまん展」を開催。イベント最終日の6月4日は高知県および高知県物産館「まるごと高知(中央区銀座)」に協力をいただき、高知県の名産物と練馬区のお土産(ねりコレ)を販売する物産展を実施。

最終日の物産展には約1,500人が来場。「らんまん展」の会期を通して全部で2,167人の来場者を記録し、大いに盛り上がりました。

##### ② ねりまシティ・ウィザード・プロジェクト事業(ねりま推し)

スタジオツアー東京の開業にあわせた機運醸成イベントとして、「魔法で練馬を盛り上げよう」をコンセプトにさまざまな企画を実施する「ねりまシティ・ウィザード・プロジェクト」を展開。

<「まちの魔法使い」のトレーディングカードを作成>

プロジェクトでは、区内において、優れた技術や技能を持つ方や、区民を巻き込み元気に活躍される方々を独自に10人を“召喚”。カードを目当てに区内を巡る仕掛けを実施。

<オリジナルの魔法メニューを開発・提供>

豊島園通りを中心に、区内の飲食店と連携し、10月21日～12月15日まで魔法メニューを提供しているお店でメニューを飲食・購入すると、巡った店舗数に応じて景品をプレゼントする魔法メニュー店周遊スタンプラリーを企画・実施。

<魔法スポット」の設置>

豊島園通りの店舗に協力を依頼し、お店で映える写真が撮影できる仕掛けを実施。

Links for hair(美容院)の窓ガラスに魔法装飾を施したことに加え、西武鉄道株式会社所有の練馬3丁目付近の擁壁を活用し、日本大学芸術学部の学生の協力のもと、壁画も作成。

##### ③ ねりま観光ツアー

ア 都市農業や地域の飲食店の紹介など、練馬の魅力を体験する観光ツアーを実施。

イ 「キウイ狩り+ホテルランチツアー」、「夏と秋の農の恵みと風景を巡るツアー」、「石神井文学散歩」を各2日ずつ開催。

ウ 新企画として、「いちご狩りとパフェ作り体験ツアー」や「サイクリングツアー」を開催。



<事業及び参加者の状況>

開催日	事業名	申込者数 (定員)	参加者	備考
令和5年 7月8日  7月10日	農の恵みと風景を巡る ツアー(南大泉)	40名 (15名) 46名 (15名)	19名  18名	収穫体験 (夏野菜・ブルーベリー)
11月9日  11月11日	キウイ狩りとホテルランチ ツアー	171名 (15名) 249名 (15名)	26名  28名	キウイ狩りおよび練馬産 農産物を使用した特別ラ ンチ
11月25日  11月28日	農の恵みと風景を巡る ツアー(高松)	33名 (15名) 17名 (15名)	13名  13名	収穫体験(練馬大根、じ ゃがいも、キャベツ等)
令和6年 1月19日 1月20日	練馬産野菜を使った特別 ランチツアー	26名 (15名) 35名 (15名)	14名  15名	氷川神社でのお参りおよ び練馬産野菜を使った特 別ピザランチ
2月16日  2月17日	練馬産のイチゴ狩り& オリジナルパフェ作り体験 ツアー	141名 (15名) 556名 (15名)	17名  17名	練馬春日町エリアの地域 散策およびイチゴ狩り& オリジナルパフェ作り体 験
3月13日  3月15日	石神井文学散歩	25名 (15名) 21名 (15名)	14名  13名	石神井地域ゆかりの文豪 たちの足跡を辿るツアー
3月21日 (①発酵、 ②ねりコレ)  3月23日 (③花見、 ④聖地巡り)	シェアサイクルでねりまを 巡ろう (サイクリングツアー)	①8名 (5名) ②1名 (5名) ③3名 (5名) ④0名 (5名)	①5名 ②1名 ③0名 ④0名	①発酵ツアー ②ねりコレ店ツアー ③石神井桜めぐりツアー ④アニメ聖地巡りツアー  ※③は雨天により、④は 応募がなかったため、中 止

## (5) 観光案内所運営事業

観光情報発信の拠点として、区内観光スポット、イベントの紹介や「ねりコレ」など区内名産品の販売を行っています。プラザの指定管理業務(1期 3 年目)に組み込まれ、売り場も以前より広くなったことを活かし、季節感を取り入れたフェアの実施などに取り組みました。

### ① 観光案内所運営概況

	ねりま観光案内所	石神井観光案内所
場所	区民・産業プラザ3階	石神井公園駅中央改札口そば
営業時間	9:00～21:00	9:00～19:00
営業日数と 休業日	358日 3月19日、年末年始	359日 年末年始
利用者	67,299人 (1日平均/188人)	52,226人 (1日平均/146人)
購入者(購入率)	18,529人(購入率 27.5%)	19,730人(購入率 37.8%)
売上	23,176,997円 (1日平均/64,740円) (一人当たり単価/1,251円)	23,247,864円 (1日平均/64,757円) (一人当たり単価/1,178円)

※ねりま観光案内所は、施設内の設備工事のため3月19日に臨時休業しました。

### ② 利用者アンケートの実施

指定管理業務化に伴い、両観光案内所の購入者を対象に、より良いサービスを提供していくことを目的として、今年度3回目の利用者アンケートを実施しました。

#### 実施期間

令和6年1月26日(金)から2月26日(月)まで(32日間)

#### 実施方法

観光案内所での購入者を対象にアンケート用紙を手渡し、備え付けの回収ボックスへ投函する方法により実施。

#### 回答数

ねりま観光案内所 257件、石神井観光案内所 258件

#### 実施結果

観光案内所の販売商品について、「区の特徴があって良い」、「お土産商品が選べて嬉しい」など好意的な回答が両案内所ともに約90%でした。

スタッフの接客について、「大変良い・良い」とする回答が、両案内所ともに95%以上でした。

③ イベント出展

以下のイベントに出展し、ねり丸グッズ、ねりコレ商品等の販売や観光パンフレットの配布等、練馬区の観光PRを行いました。

開催日	イベント	会場
令和5年 5月14日(日)	第36回照姫まつり	石神井公園および周辺地域
5月28日(日)	アニメプロジェクト in 大泉 2023	妙延寺
7月8日(土)	西武グリーンマルシェ	石神井公園駅前
10月15日(日)	第46回練馬まつり	練馬駅北口およびマロニエ通り周辺
10月21日(土)	ねりまファミリーパック× 長野県上田市 おいしい秋 の大感謝祭	産業イベントコーナー
11月4日(土)	西武グリーンマルシェ	石神井公園駅前
11月19日(日)	全国都市農業フェスティバル	都立光が丘公園
令和6年 1月5日(金)	賀詞交歓会	光が丘体育館
2月25日(日)	大泉スイーツフェスタ	練馬区立勤労福祉会館
3月24日(日)	練馬こぶしハーフマラソン	光が丘公園および区内幹線道路を主とするハーフマラソンコース

## 5 社員総会および理事会の開催、監査の実施ならびに共済事業運営委員会の開催

定款の規定に基づき開催した社員総会および理事会は、各議案についてすべて可決および承認されました。

また、令和4年度一般会計に係る決算について監査を行いました。

### (1) 社員総会の開催状況

回数	開催日	議案等	
第1回	令和5年5月26日	議案第1号 議案第2号 議案第3号 報告 その他	令和4年度事業報告および収支決算ならびに監査報告 役員の選任 役員に関する規程の改定 (1)経営計画の取組、達成状況の評価 (2)理事長、副理事長および常務理事の職務の執行状況 今後の日程
第2回	令和5年11月28日	議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 議案第9号 議案第10号 報告 その他	令和5年度予算の補正(第1回) 文書管理規程の改定 個人情報の保護に関する規程の全部改正 個人情報の保護に関する規程施行細則の廃止 情報公開および個人情報保護審査会に関する規程の改定 情報公開に関する規程の改定 特定個人情報の取扱に関する規程の改定 (1)令和5年度上半期事業報告および収支状況 (2)公社ホームページのセキュリティ対策 (3)理事長、副理事長および常務理事の職務の執行状況 今後の日程
第3回	令和6年3月25日	議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号	令和5年度予算の補正(第2回) 就業規程の改定 職員の育児休業・介護休業等に関する規程の改定 職員の旅費に関する規程の改定 雇用期間が定められている職員の設置および就業に関する規程の改定 雇用期間が定められている職員の設置および就業の特例に関する規程の廃止 職員の給与に関する規程の改定 職員の退職手当に関する規程の改定 令和6年度事業計画および収支予算

		議案第20号 報告 その他	改定経営計画・年度別計画(令和5・6年度)の一部改訂 (1)区民・産業プラザの利用者アンケート結果 (2)練馬ビジネスサポートセンターアンケート結果 (3)観光案内所の利用者アンケート結果 今後の日程
書面表決	令和6年3月31日	議案第21号	役員に関する規程の改定

## (2) 理事会の開催状況

回数	開催日	議案等	
書面表決	令和5年5月24日	議案第1号	副理事長の選出
第1回	令和5年5月15日	議案第2号 議案第3号 議案第4号 報告 その他	令和4年度事業報告および収支決算ならびに監査報告 役員の選任および役員に関する規程の改定について令和5年度第1回社員総会の付議事項とすること 令和5年度第2回社員総会の開催 (1)経営計画の取組、達成状況の評価 (2)理事長、副理事長および常務理事の職務の執行状況 今後の日程
書面表決	令和5年5月26日	議案第5号 議案第6号 議案第7号	理事長の選出 副理事長の選出 常務理事の選出
第2回	令和5年11月24日	議案第8号 議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 報告 その他	令和5年度予算の補正(第1回) 文書管理規程の改定 個人情報の保護に関する規程の全部改正 個人情報の保護に関する規程施行細則の廃止 情報公開および個人情報保護審査会に関する規程の改定 情報公開に関する規程の改定 特定個人情報の取扱いに関する規程の改定 令和5年度第3回社員総会の開催 (1)令和5年度上半期事業報告および収支状況 (2)公社ホームページのセキュリティ対策 (3)理事長、副理事長および常務理事の職務の執行状況 今後の日程

第3回	令和6年3月13日	議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号  議案第21号  議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号  議案第26号 報告  その他	令和5年度予算の補正(第2回) 就業規程の改定 職員の育児休業・介護休業等に関する規程の改定 職員の旅費に関する規程の改定 雇用期間が定められている職員の設置および就業に関する規程の改定 雇用期間が定められている職員の設置および就業の特例に関する規程の廃止 職員の給与に関する規程の改定 職員の退職手当に関する規程の改定 令和6年度事業計画および収支予算 改定経営計画・年度別計画(令和5・6年度)の一部改訂 令和6年度第1回社員総会の開催 (1)区民・産業プラザの利用者アンケート結果 (2)練馬ビジネスサポートセンターアンケート結果 (3)観光案内所の利用者アンケート結果 今後の日程
書面表決	令和6年3月31日	議案第27号	役員に関する規程の改定について令和5年度の社員総会の付議事項とすること

### (3) 監査の実施状況

開催日	監査内容
令和5年5月11日	令和4年度一般会計に係る決算に伴い、監事が令和3年度の事業執行状況および会計処理全般の監査を実施しました。

### (4) 共済事業運営委員会の開催状況

回数	開催日	内容
第1回	令和5年5月11日	報告 1 令和4年度勤労者福祉共済事業事業報告および収支決算 2 令和5年度勤労者福祉共済事業事業計画および収支予算 3 令和5年度第1回会員加入促進キャンペーン 4 その他
第2回	令和5年10月26日	報告 1 令和5年度上半期勤労者福祉共済事業事業報告および収支状況

### Ⅲ 令和5年度決算報告書





# 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	76,870,758	58,573,009	18,297,749
未収金	2,529,021	4,295,053	△1,766,032
前払金	931,005	0	931,005
棚卸資産	10,963,093	9,914,884	1,048,209
流動資産合計	91,293,877	72,782,946	18,510,931
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	37,129,283	29,730,506	7,398,777
事業運営基金積立資産	151,460,463	142,500,774	8,959,689
特定資産合計	188,589,746	172,231,280	16,358,466
(2) その他固定資産			
リース資産	40,792,271	52,447,205	△11,654,934
出資金	30,000	30,000	0
保証金	150,000	0	150,000
その他固定資産合計	40,972,271	52,477,205	△11,504,934
固定資産合計	229,562,017	224,708,485	4,853,532
資産合計(A)	320,855,894	297,491,431	23,364,463
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	55,833,450	46,243,151	9,590,299
前受金	9,510,180	7,929,575	1,580,605
預り金	1,055,187	925,940	129,247
短期リース債務	11,563,854	5,759,263	5,804,591
賞与引当金	10,360,093	8,384,057	1,976,036
流動負債合計	88,322,764	69,241,986	19,080,778
2. 固定負債			
退職給付引当金	37,129,283	29,730,506	7,398,777
長期リース債務	29,691,209	46,885,236	△17,194,027
固定負債合計	66,820,492	76,615,742	△9,795,250
負債合計(B)	155,143,256	145,857,728	9,285,528
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	90,500,000	90,500,000	0
(うち特定資産への充当額)	(90,500,000)	(90,500,000)	(0)
2. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	75,212,638	61,133,703	14,078,935
(うち特定資産への充当額)	(75,212,638)	(61,133,703)	(14,078,935)
正味財産合計(C)	165,712,638	151,633,703	14,078,935
負債及び正味財産合計(B) + (C)	320,855,894	297,491,431	23,364,463

# 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収入	[380,338,505]	[373,548,645]	[6,789,860]
共済事業収入	(193,903,350)	(200,660,570)	(△6,757,220)
会費・入会金収入	58,567,200	59,955,300	△1,388,100
生活充実事業収入	58,754,300	64,294,800	△5,540,500
健康増進事業収入	16,143,300	14,534,800	1,608,500
自己啓発事業収入	25,408,750	23,236,370	2,172,380
余暇活動事業収入	35,029,800	38,639,300	△3,609,500
指定管理業務収入	(186,435,155)	(172,888,075)	(13,547,080)
受託収入	153,537,000	144,522,935	9,014,065
利用料収入	32,898,155	28,365,140	4,533,015
受取補助金	[271,895,179]	[263,990,268]	[7,904,911]
区補助金収入	(269,472,179)	(262,990,268)	(6,481,911)
その他補助金収入	(2,423,000)	(1,000,000)	(1,423,000)
雑収入	[15,964,089]	[10,090,091]	[5,873,998]
受取利息	109,935	115,117	△5,182
広告料収入	2,073,809	852,317	1,221,492
手数料収入	4,602,294	4,149,798	452,496
受講料収入	2,491,500	2,086,500	405,000
雑収入	3,100,058	500,347	2,599,711
物品販売収入	3,586,493	2,386,012	1,200,481
経常収益計	668,197,773	647,629,004	20,568,769
(2) 経常費用			
事業費	[442,766,945]	[448,621,713]	[△5,854,768]
共済事業費	(201,459,195)	(205,641,094)	(△4,181,899)
生活充実事業費	88,357,141	93,126,410	△4,769,269
健康増進事業費	27,075,379	24,925,311	2,150,068
自己啓発事業費	28,150,098	25,597,131	2,552,967
余暇活動事業費	44,346,614	49,987,875	△5,641,261
会報等発行費	7,920,365	6,081,305	1,839,060
会員加入促進費	2,575,417	3,494,156	△918,739
消耗品費	66,442	83,885	△17,443
印刷製本費	1,958,220	1,397,275	560,945
通信運搬費	849,695	788,177	61,518
租税公課	400	0	400
諸費	159,424	159,569	△145
ビジネスサポートセンター費	(69,500,396)	(78,471,824)	(△8,971,428)
経営相談事業費	27,911,676	25,011,159	2,900,517
中小企業支援事業費	41,588,720	53,460,665	△11,871,945
区民・産業プラザ維持運営費	(91,456,100)	(89,156,858)	(2,299,242)
施設運営費	26,139,664	23,757,585	2,382,079
施設維持管理費	65,316,436	65,399,273	△82,837
観光振興費	(80,351,254)	(75,351,937)	(4,999,317)
観光事業推進費	45,522,005	41,274,026	4,247,979
観光案内所運営費	34,829,249	34,077,911	751,338
期首棚卸資産	[9,914,884]	[7,865,421]	[2,049,463]
期末棚卸資産	[△10,963,093]	[△9,914,884]	[△1,048,209]

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	[212,400,102]	[199,707,472]	[12,692,630]
管理人件費	(161,269,528)	(152,338,797)	(8,930,731)
報酬	21,513,720	19,797,218	1,716,502
給料手当	98,216,364	98,965,684	△749,320
共済費	23,780,574	22,197,108	1,583,466
退職給付費用	7,398,777	2,994,730	4,404,047
賞与引当金繰入額	10,360,093	8,384,057	1,976,036
管理運営費	(51,130,574)	(47,368,675)	(3,761,899)
役員報酬等	448,000	438,000	10,000
健康診断料	493,394	426,605	66,789
研修費	847,600	0	847,600
旅費	150,184	174,372	△24,188
消耗品費	1,267,196	752,135	515,061
印刷製本費	45,760	73,040	△27,280
光熱水費	665,474	615,980	49,494
通信運搬費	2,123,894	2,097,740	26,154
減価償却費	11,654,934	5,827,467	5,827,467
支払手数料	1,701,919	1,539,488	162,431
委託料	17,184,930	16,541,760	643,170
利用料および賃借料	341,880	341,880	0
システム経費	10,711,480	9,536,927	1,174,553
備品費	65,230	76,800	△11,570
租税公課	2,563,038	8,317,860	△5,754,822
支払利息	530,462	312,641	217,821
諸費	335,199	295,980	39,219
経常費用計	654,118,838	646,279,722	7,839,116
当期経常増減額	14,078,935	1,349,282	12,729,653
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
他会計振替額	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	14,078,935	1,349,282	12,729,653
一般正味財産期首残高	61,133,703	59,784,421	1,349,282
一般正味財産期末残高	75,212,638	61,133,703	14,078,935
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	90,500,000	90,500,000	0
基金期末残高	90,500,000	90,500,000	0
IV 正味財産期末残高	165,712,638	151,633,703	14,078,935

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、令和2年5月15日改正、内閣府公益認定等委員会)を採用している。

#### (1) 有価証券の評価基準および評価方法

満期保有目的の債権……購入時の取得価額によっている。

出資金……移動平均法に基づく原価法で評価している。

#### (2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

棚卸資産……最終仕入原価法

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、職員全員の定年退職を前提とした期末退職給与の要支給額に相当する金額から勤労者退職金共済機構・中小企業退職金共済事業本部の退職手当共済契約に基づいて支払われる金額を控除した金額を元に計上している。

賞与引当金は、賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する金額を計上している。

#### (4) 固定資産の減価償却の方法

リース資産……所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産についてはリース期間を耐用年数として、残存価額をゼロとする定額法によっている。

なお、重要性の乏しい所有権移転外ファイナンス・リース取引は賃貸借処理を行っている。

#### (5) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式を採用している。

### 2. 特定資産の増減額およびその残高

特定資産の増減額およびその残高は、つぎのとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	29,730,506	7,398,777	0	37,129,283
事業運営基金積立資産	142,500,774	13,459,689	4,500,000	151,460,463
合 計	172,231,280	20,858,466	4,500,000	188,589,746

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、つぎのとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
退職給付引当資産	37,129,283	(0)	(0)	(37,129,283)
事業運営基金積立資産	151,460,463	(0)	(75,212,638)	(0)
合 計	188,589,746	(0)	(75,212,638)	(37,129,283)

4. 固定資産の取得価額・減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額・減価償却累計額及び当期末残高は、つぎのとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	58,274,672	17,482,401	40,792,271
出資金	30,000	—	30,000
保証金	150,000	—	150,000
合 計	58,454,672	17,482,401	40,972,271

5. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高はつぎのとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
区補助金					
運営費	練馬区	0	122,585,455	122,585,455	0
事業費	練馬区	0	146,886,724	146,886,724	0
その他補助金	※	0	2,423,000	2,423,000	0
合 計		0	271,895,179	271,895,179	0

※(公財)東京観光財団

6. 基金および代替基金の増減およびその残高

基金および代替基金の増減およびその残高は、つぎのとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金	90,500,000	0	0	90,500,000
基金計	90,500,000	0	0	90,500,000
代替基金	0	0	0	0
代替基金計	0	0	0	0
合 計	90,500,000	0	0	90,500,000

7. 満期保有目的の債権の内訳ならびに帳簿価額、時価および評価損益

満期保有目的の債権の内訳ならびに帳簿価額、時価および評価損益は、つぎのとおりである。

(単位：円)

種類および銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
大和証券株式会社 債権 29 三菱UFJFG劣FR	1,000,000	982,300	△ 17,700
大和証券株式会社 債権 31 三菱UFJFG劣FR	1,000,000	984,800	△ 15,200
大和証券株式会社 債権 35 大和証券G本社	10,000,000	10,007,000	7,000
大和証券株式会社 債権 43 大和証券G本社	5,000,000	4,996,000	△ 4,000
	17,000,000	16,970,100	△ 29,900

8. その他

リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引関係

①リース資産の内容

その他固定資産・・・事務用の業務処理システム、パソコンおよびプリンターである。

## 附属明細書

### 1. 基金および特定資産の明細

基金および特定資産については、財務諸表の注記に記載をしているため、省略する。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	8,384,057	10,360,093	8,384,057	0	10,360,093
退職給付引当金	29,730,506	7,398,777	0	0	37,129,283

# 財産目録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
<b>(流動資産)</b>						
現金・預金	手元管理		年度未売上金、レジ釣銭	861,350		
		普通預金				
		みずほ銀行練馬富士見台支店	事業費口座として	4,871,840		
		巢鴨信用金庫練馬支店	事業費口座として	1,828,390		
		みずほ銀行練馬富士見台支店	管理費口座として	7,606,855		
		巢鴨信用金庫練馬支店	指定管理費口座として	4,515,137		
		巢鴨信用金庫練馬支店	補助金口座として	31,930,029		
		みずほ銀行練馬富士見台支店	中小企業支援事業費口座として	100,000		
		巢鴨信用金庫練馬支店	予備事業費口座として	313,910		
		みずほ銀行練馬富士見台支店	予備管理費口座として	9,900		
		みずほ銀行練馬富士見台支店	預り金口座として	1,055,199		
		みずほ銀行練馬富士見台支店	観光振興費口座として	8,835,570		
		ゆうちょ銀行	事業費口座として	1,564,214		
		ゆうちょ銀行	指定管理費口座として	13,378,364		
			小計	[76,870,758]		
未収金	内訳書参照		2,529,021			
前払金	内訳書参照		931,005			
棚卸資産	内訳書参照		10,963,093			
<b>流動資産合計</b>				<b>91,293,877</b>		
<b>(固定資産)</b>						
特定資産	退職給付引当資産	定期預金				
		みずほ銀行練馬富士見台支店	退職給付積立預金として	17,046		
		東京あおば農協豊玉支店	退職給付積立預金として	15,599,077		
		大和ネクスト銀行	退職給付積立預金として	4,200,933		
		三井住友銀行	退職給付積立預金として	7,389,227		
		定期貯金				
		ゆうちょ銀行	退職給付積立預金として	7,923,000		
		大和証券練馬支店	退職給付積立預金として	2,000,000		
			小計	[37,129,283]		
		事業運営基金積立資産	定期預金	西京信用金庫練馬支店	事業運営基金として	90,590,086
				巢鴨信用金庫練馬支店	事業運営基金として	18,760,639
				大和ネクスト銀行	事業運営基金として	4,800,905
				東京あおば農協中村橋支店	事業運営基金として	8,931,833
				三井住友銀行	事業運営基金として	13,377,000
				有価証券		
大和証券練馬支店	事業運営基金として			15,000,000		
	小計	[151,460,463]				
その他固定資産	リース資産	OA機器、ソフトのリース契約	各事業で使用	40,792,271		
	出資金	中央労働金庫池袋支店		10,000		
		巢鴨信用金庫練馬支店		20,000		
	保証金	公益財団法人東京観光財団	地域限定旅行業保証料負担金	150,000		
			小計	[40,972,271]		
<b>固定資産合計</b>				<b>229,562,017</b>		
<b>資産合計</b>				<b>320,855,894</b>		
<b>(流動負債)</b>						
未払金	内訳書参照			55,833,450		
		前受金	内訳書参照	9,510,180		
		預り金	雇用保険に対するもの	雇用保険料本人負担分	1,055,187	
		短期リース債務	OA機器、ソフトのリース債務	パソコン、ソフト等のリース債務(短期)	11,563,854	
		賞与引当金	職員に対するもの	職員の賞与の引当金	10,360,093	
<b>流動負債合計</b>				<b>88,322,764</b>		
<b>(固定負債)</b>						
退職給付引当金	職員に対するもの		職員15名に対する退職金支払いに備えるもの	37,129,283		
		長期リース債務	OA機器、ソフトのリース債務	パソコン、ソフト等のリース債務(長期)	29,691,209	
<b>固定負債合計</b>				<b>66,820,492</b>		
<b>負債合計</b>				<b>155,143,256</b>		
<b>正味財産</b>				<b>165,712,638</b>		

# 一般会計 収支計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

## 収入支出額

区 分	金 額	前年度	増△減
収入済額(C)	680,467,169円	663,664,807円	16,802,362円(2.5%)
支出済額(D)	666,535,202円	655,895,411円	10,639,791円(1.6%)
収支差額(C)-(D)	13,931,967円	7,769,396円	6,162,571円

## 【収入】

科 目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	収入済額
<b>1 事業収入</b>	<b>412,714,000</b>	<b>△ 18,400,000</b>	<b>0</b>	<b>394,314,000</b>	<b>380,338,505</b>
(1)共済事業収入	227,799,000	△ 20,000,000	0	207,799,000	193,903,350
①会費・入会金収入	61,900,000		0	61,900,000	58,567,200
②生活充実事業収入	71,275,000	△ 10,000,000	0	61,275,000	58,754,300
③健康増進事業収入	17,932,000	0	0	17,932,000	16,143,300
④自己啓発事業収入	30,111,000	0	0	30,111,000	25,408,750
⑤余暇活動事業収入	46,581,000	△ 10,000,000	0	36,581,000	35,029,800
(2)指定管理業務収入	184,915,000	1,600,000	0	186,515,000	186,435,155
①委託料収入	153,537,000	0	0	153,537,000	153,537,000
②利用料金収入	31,378,000	1,600,000	0	32,978,000	32,898,155
<b>2 補助金収入</b>	<b>285,778,000</b>	<b>2,423,000</b>	<b>0</b>	<b>288,201,000</b>	<b>271,895,179</b>
(1)区補助金収入	285,778,000	0	0	285,778,000	269,472,179
(2)その他補助金収入	0	2,423,000	0	2,423,000	2,423,000
<b>3 雑収入</b>	<b>11,454,000</b>	<b>700,000</b>	<b>0</b>	<b>12,154,000</b>	<b>15,964,089</b>
(1)受取利息	139,000	0	0	139,000	109,935
(2)広告料収入	1,827,000	0	0	1,827,000	2,073,809
(3)手数料収入	3,850,000	700,000	0	4,550,000	4,602,294
(4)受講料収入	2,318,000	0	0	2,318,000	2,491,500
(5)物品販売収入	2,000,000	0	0	2,000,000	3,586,493
(6)雑収入	1,320,000	0	0	1,320,000	3,100,058
<b>4 特定預金取崩収入</b>	<b>7,022,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>7,022,000</b>	<b>4,500,000</b>
当期収入合計(A)	716,968,000	△ 15,277,000	0	701,691,000	672,697,773
前期繰越収支差額(B)	1,000,000	6,770,000	0	7,770,000	7,769,396
収入合計(C)	717,968,000	△ 8,507,000	0	709,461,000	680,467,169



(単位:円)

差 異	収入率	説 明	科 目
<b>13,975,495</b>	<b>96.5%</b>		<b>1 事業収入</b>
13,895,650	93.3%		(1) 共済事業収入
3,332,800	94.6%	ねりまファミリーパック会費・入会金収入	① 会費・入会金収入
2,520,700	95.9%	区内共通商品券、グルメカード 等	② 生活充実事業収入
1,788,700	90.0%	日帰り温泉チケット、練馬区スポーツ施設利用カード 等	③ 健康増進事業収入
4,702,250	84.4%	観劇・展覧会チケット、映画鑑賞券 等	④ 自己啓発事業収入
1,551,200	95.8%	遊園地・スポーツ観戦チケット 等	⑤ 余暇活動事業収入
79,845	100.0%		(2) 指定管理業務収入
0	100.0%	練馬区からの受取指定管理費	① 委託料収入
79,845	99.8%	区民・産業プラザ利用料金収入	② 利用料金収入
<b>16,305,821</b>	<b>94.3%</b>		<b>2 補助金収入</b>
16,305,821	94.3%	練馬区からの補助金	(1) 区補助金収入
0	100.0%	(公財)東京観光財団からの助成金	(2) その他補助金収入
<b>△ 3,810,089</b>	<b>131.3%</b>		<b>3 雑収入</b>
29,065	79.1%	預金利息	(1) 受取利息
△ 246,809	113.5%	広告料収入	(2) 広告料収入
△ 52,294	101.1%	プラザ自動販売機手数料 等	(3) 手数料収入
△ 173,500	107.5%	ネリサボ各種セミナー受講料	(4) 受講料収入
△ 1,586,493	179.3%	ねり丸グッズ売上金 等	(5) 物品販売収入
△ 1,780,058	234.9%	創業ねりま塾協賛金収入 等	(6) 雑収入
<b>2,522,000</b>	<b>64.1%</b>	事業運営基金の取り崩し	<b>4 特定預金取崩収入</b>
<b>28,993,227</b>	<b>95.9%</b>		<b>当期収入合計(A)</b>
<b>604</b>	<b>100.0%</b>	令和4年度決算の繰越し	<b>前期繰越収支差額(B)</b>
<b>28,993,831</b>	<b>95.9%</b>		<b>収入合計(C)</b>

## 【支出】

科 目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	支出済額
<b>1 事業費</b>	<b>511,266,000</b>	<b>△ 32,659,000</b>	<b>0</b>	<b>478,607,000</b>	<b>442,766,945</b>
(1)共済事業費	236,971,000	△ 20,000,000	0	216,971,000	201,459,195
①生活充実事業費	102,285,000	△ 10,000,000	0	92,285,000	88,357,141
②健康増進事業費	29,280,000		0	29,280,000	27,075,379
③自己啓発事業費	33,433,000		0	33,433,000	28,150,098
④余暇活動事業費	57,132,000	△ 10,000,000	0	47,132,000	44,346,614
⑤共済事業運営費	14,841,000	0	0	14,841,000	13,529,963
(2)ビジネスサポートセンター費	97,025,000	△ 14,500,000	0	82,525,000	69,500,396
①経営相談事業費	27,715,000	500,000	0	28,215,000	27,911,676
②中小企業支援事業費	69,310,000	△ 15,000,000	0	54,310,000	41,588,720
(3)観光振興費	77,602,000	5,341,000	0	82,943,000	80,351,254
①観光事業推進費	42,027,000	5,841,000	0	47,868,000	45,522,005
②観光案内所運営費	35,575,000	△ 500,000	0	35,075,000	34,829,249
(4)区民・産業プラザ維持運営費	99,668,000	△ 3,500,000	0	96,168,000	91,456,100
①施設運営費	30,014,000	△ 1,000,000	0	29,014,000	26,139,664
②施設維持管理費	69,654,000	△ 2,500,000	0	67,154,000	65,316,436
<b>2 管理費</b>	<b>200,824,000</b>	<b>6,800,000</b>	<b>0</b>	<b>207,624,000</b>	<b>202,909,791</b>
(1)人件費	147,793,000	4,200,000	0	151,993,000	151,894,715
①報酬	22,318,000	0	△ 800,000	21,518,000	21,513,720
②給料手当	101,311,000	4,700,000	591,000	106,602,000	106,600,421
③共済費	24,164,000	△ 500,000	209,000	23,873,000	23,780,574
(2)運営費	41,508,000	2,700,000	0	44,208,000	39,625,640
①役員報酬等	534,000	0	△ 86,000	448,000	448,000
②健康診断料	622,000	0	△ 128,000	494,000	493,394
③研修費	810,000	0	38,000	848,000	847,600
④旅費	183,000	0	△ 32,000	151,000	150,184
⑤消耗品費	1,052,000	0	216,000	1,268,000	1,267,196
⑥印刷製本費	311,000	0	△ 265,000	46,000	45,760
⑦光熱水費	484,000	0	182,000	666,000	665,474
⑧通信運搬費	2,874,000	0	△ 750,000	2,124,000	2,123,894
⑨支払手数料	2,111,000	0	△ 409,000	1,702,000	1,701,919
⑩委託料	17,057,000	0	128,000	17,185,000	17,184,930
⑪使用料および賃借料	342,000	0	0	342,000	341,880
⑫システム経費	6,969,000	2,634,000	1,109,000	10,712,000	10,711,480
⑬備品費	0	66,000	0	66,000	65,230
⑭保証金	0	0	150,000	150,000	150,000
⑮租税公課	7,167,000	0	△ 28,000	7,139,000	2,563,038
⑯支払利息	531,000	0	0	531,000	530,462
⑰諸費	461,000	0	△ 125,000	336,000	335,199
(3)リース債務支出	11,523,000	△ 100,000	0	11,423,000	11,389,436
<b>3 特定預金支出</b>	<b>5,878,000</b>	<b>17,352,000</b>	<b>0</b>	<b>23,230,000</b>	<b>20,858,466</b>
<b>当期支出合計(D)</b>	<b>717,968,000</b>	<b>△ 8,507,000</b>	<b>0</b>	<b>709,461,000</b>	<b>666,535,202</b>
当期収支差額(A)-(D)	-	-	-	-	6,162,571
次期繰越収支差額(C)-(D)	-	-	-	-	13,931,967

(単位:円)

差 異	執行率	説 明	科 目
<b>35,840,055</b>	<b>92.5%</b>		<b>1 事業費</b>
15,511,805	92.9%		(1)共済事業費
3,927,859	95.7%	慶弔見舞金の給付、区内共通商品券 等	①生活充実事業費
2,204,621	92.5%	日帰り温泉チケット、練馬区スポーツ施設利用カード 等	②健康増進事業費
5,282,902	84.2%	観劇・展覧会チケット、映画鑑賞券 等	③自己啓発事業費
2,785,386	94.1%	遊園地フリーパス、トラベル利用補助 等	④余暇活動事業費
1,311,037	91.2%	会報等発行費・会員加入促進費 等	⑤共済事業運営費
13,024,604	84.2%		(2)ビジネスサポートセンター費
303,324	98.9%	各種相談等事業費 等	①経営相談事業費
12,721,280	76.6%	各種セミナー運営費、空き店補助 等	②中小企業支援事業費
2,591,746	96.9%		(3)観光振興費
2,345,995	95.1%	観光事業費、ホームページ事業費 等	①観光事業推進費
245,751	99.3%	観光案内所窓口運営委託料 等	②観光案内所運営費
4,711,900	95.1%		(4)区民・産業プラザ維持運営費
2,874,336	90.1%	プラザ窓口業務委託料、印刷費 等	①施設運営費
1,837,564	97.3%	清掃衛生費、光熱水費、設備保守費 等	②施設維持管理費
<b>4,680,645</b>	<b>97.7%</b>		<b>2 管理費</b>
98,285	99.9%		(1)人件費
4,280	100.0%	理事長報酬 等	①報酬
1,579	100.0%	職員給与 等	②給与
92,426	99.6%	職員社会保険料 等	③共済費
4,582,360	89.6%		(2)運営費
0	100.0%	役員報酬 等	①役員報酬等
606	99.9%	定期健康診断料	②健康診断料
400	100.0%	職員研修費	③研修費
816	99.5%	職員旅費	④旅費
804	99.9%	プリンター消耗品 等	⑤消耗品費
240	99.5%	封筒作成費 等	⑥印刷製本費
526	99.9%	電気料金、水道料金 等	⑦光熱水費
106	100.0%	電話料、後納郵便料金 等	⑧通信運搬費
81	100.0%	会費口座振替手数料、振込手数料 等	⑨支払手数料
70	100.0%	窓口業務委託料、税務会計相談委託料 等	⑩委託料
120	100.0%	ココネリ地下倉庫賃借料	⑪使用料および賃借料
520	100.0%	ホームページ保守料、デジタル複合機使用料 等	⑫システム経費
770	98.8%	ミーティングルームラック設置費	⑬備品費
0	100.0%	地域限定旅行業保証料負担金	⑭保証金
4,575,962	35.9%	消費税納付額、登記印紙 等	⑮租税公課
538	99.9%	システムリース物件支払利息	⑯支払利息
801	99.8%	会議費、交際費、広告宣伝費 等	⑰諸費
33,564	99.7%	システムリース料	(3)リース債務支出
<b>2,371,534</b>	<b>89.8%</b>	事業運営基金および退職給付引当金	<b>3 特定預金支出</b>
<b>42,925,798</b>	<b>93.9%</b>		<b>当期支出合計(D)</b>
-	-		当期収支差額(A)-(D)
-	-		次期繰越収支差額(C)-(D)

## 令和5年度収支計算書について

### 【 決算規模 】

収入総額は6億8,046万円で、支出総額は6億6,653万円となり、収支差額は1,393万円となりました。

前年度に比べて、収入総額は1,680万円、2.5%の増、支出総額は1,063万円、1.6%の増となりました。これは、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、制限が緩和されたことから、各事業の利用者が増加したことや、観光事業でねりまシティ・ウィザードプロジェクト事業などの「ねりま推し」事業を積極的に実施したことによるものです。

収支差額が前年度より616万円増加した要因は、指定管理費に予算計上した消費税について、消費税申告の還付があったことによるものです。この繰越分は、令和6年度の納付額に充てることとしています。

### 【 収 入 】

1 事業収入は3億8,033万円で、前年度より678万円の増となりました。

これは、(1)共済事業収入が675万円の減となったものの、(2)指定管理業務収入が利用料金収入の増加などにより1,354万円の増となったことによります。

2 補助金収入は2億7,189万円で、前年度より790万円の増となりました。

これは、(1)区補助金収入で、人件費や観光事業経費が増加したことによるものです。

3 雑収入は1,596万円で、前年度より587万円の増となりました。

これは、共済事業の広告料収入で、会報紙へのチラシ折込やガイドブック発行に伴う広告料収入が増加したことや、観光事業の物品販売収入が増加したことによるものです。

### 【 支 出 】

1 事業費は4億4,276万円で、前年度より、585万円の減となりました。

これは、(1)共済事業費が会員数の減少で各事業の利用が減ったことにより、418万円の減となったことや、(2)ビジネスサポートセンター費で、各種補助金の交付件数が減少したことにより、897万円の減になったことによります。

2 管理費は2億290万円で、前年度より993万円の増となりました。

これは、人件費の支出額が1,093万円増えたことが主な原因です。

3 特定預金支出は、2,085万円で、退職給付引当資産および事業運営基金積立資産の積立です。

## 【 特定基金の積立と預託 】

### 1 事業運営基金の積立

安定した事業執行、および臨時的な事業実施のために、決算剰余金の一部を積み立てています。

①令和5年度末現在高	151,460,463 円
②令和4年度末	〃 142,500,774 円
③令和3年度末	〃 131,353,197 円

### 2 退職給付引当金の積立

職員の退職手当の引当金を特定預金支出として、積み立てています。

①令和5年度末現在高	37,129,283 円
②令和4年度末	〃 29,730,506 円
③令和3年度末	〃 31,580,926 円

### 3 特定預金の預託

特定預金の預託については、確実かつ安全であること、金利面で有利であること、資金として流動的であることを基本に、預金保護制度などを考慮して、預託先、預託金額を決めています。

現在の預託先は、みずほ銀行、三井住友銀行、ゆうちょ銀行、東京あおば農業協同組合、西京信用金庫、巣鴨信用金庫、大和ネクスト銀行、大和証券です。

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲について

資金の範囲については、現金・預金、未収金、前払金、未払金、前受金、預り金を含めることとしている。

なお、前期末および当期末残高は下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額の内容

次期繰越収支差額の内容は、つぎのとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	58,573,009	76,870,758
未収金	4,295,053	2,529,021
前払金	0	931,005
合 計	62,868,062	80,330,784
未払金	46,243,151	55,833,450
前受金	7,929,575	9,510,180
預り金	925,940	1,055,187
合 計	55,098,666	66,398,817
次期繰越収支差額	7,769,396	13,931,967